

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2470100435		
法人名	有限会社すずらん		
事業所名	すずらん大山田		
所在地	三重県桑名市大山田2丁目7番地11		
自己評価作成日	平成30年11月22日	評価結果市町提出日	平成31年2月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhouvyou_detail_2018_022_kihon=true&JigvoNoCd=2470100435-00&PrefCd=24&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成30年12月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな住宅地にあり、周りには池や公園もあり、密集地ではなく、緑豊かで四季の移りかわりが良よく感じられる。少人数で生活感もあり、また旬の食材を取り入れた手作りの食事は利用者からも好評で毎日の食事が楽しみの一つでもあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は広い団地内に位置し、公園や池を前にしており静かな住みよい場所にある。開所18年となり、経験豊かな管理者を中心に、同一建物内のデイサービス事業所の管理者と協力しながら支援にあたっている。職員は、調理・介護・清掃等専門分野と得意分野を受け持ち、利用者に「やさしい心と、優しい手」をむけて安心した生活が出来るよう工夫と努力を重ねて支援にあたっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスを常に心に留め、理念に基づいたケアが出来るように職員は一丸となって日々努力をしております。	会社の理念が、事業所の入り口(2階)に掲げてある。それとは別に事業所だけの解りやすい理念「やさしい心とやさしい手で利用者を尊重し、地域の人と仲良く生活する」を職員と共有して支援にあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	静かな住宅街にあり自治会に加入させていただき、町内清掃にも参加したり、また消防訓練にもお誘いして一緒に訓練をしております。	利用者が地域に出掛けるのは少なくなっているが、自治会に加入し清掃活動に参加している。中学生の職場体験依頼も中学校に出掛けて積極的に働きかけている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域推進委員会を通じ、事業所の情報を提供したり、地域の困り事を皆で解決の方向へ考えたり、地域包括の方や市役所の方に助言をいただいたりして相談しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営委員会で挙げられた意見を皆で共有し、解決に向けて話し合ったり、それをサービス向上につなげております。地域包括の方から地域での研修を知らせていただき参加してスキルアップに努めております。	年6回定期的に開催している。市関係者・民生委員・家族等の参加で状況報告を行い、意見交換をしている。自治会長の参加依頼も何度もお願いし、協力を得る努力をしている。避難訓練の開催協力を得ている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月毎の運営推進委員会に地域包括の方と交代で参加していただいたり、介護保険の更新申請の代行をしております。	管理者と介護支援専門員を兼務しているので介護保険制度に関する事務手続きの際に報告や相談をしている。運営等については本部分が行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を開き、職員は身体拘束をしないケアについては十分理解をしております。	身体拘束しないケアについてはマニュアル等で話し合いをしている。利用者が2階の非常階段から出られたのをきっかけに、安全上、開閉戸を二重ロックの鍵をつけて様子を見ています。	今年度から制度改正により「身体拘束委員会」の開催が義務づけされたことから早急に委員会の立ちあげと、職員に身体拘束等の適正化のための研修会を定期的実施できるよう期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を開き、職員は身体拘束をしないケアについては十分理解をしております。開いて職員は虐待防止の意識を高め、防止に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内研修により制度について学ぶ機会を設けております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には重要事項説明書とつき合わせ、丁寧に説明してご家族の方に理解・納得していただけるように努力しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の方やご家族の方からの意見はすぐに職員間で共有し、サービス向上につなげます。 現在のところ、ご家族の方から特に意見はありません。	利用者とは食事介助の時に話したりしている。家族からは面会時などにケアについては質問もあるが、運営については意見が出ない。毎月「すずらん通信」を発行し、利用者毎に様子をお知らせして意見を表せる状況づくりをしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する意見は昼食を摂りながら管理者・職員間で話し合う程度で、代表者まで伝わらないのが現状です。	管理者と職員は、昼食後の時間を利用して話し合いはしているが、特別に会議はもっていない。職員はいつでも管理者と話すことは出来る。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は個々の勤務状況を把握し、給与水準、労働時間等、職員が働きやすい職場環境の条件の整備に努めていると思います。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は、現状では行っておりません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の方に寄り添いながらご本人の気持ちを落ち着かせ、安心した生活が出来るよう努めております。またご家族の方からも、これまでの生活を出来る限り聞かせていただき、支援につながるように努力しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時にご家族の方からの情報を出来るだけ聞かせていただき、ご家族の方や利用者の方も安心出来る信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の要望を聞かせていただき、またご本人の様子も観察して無理のないように支援していきたいと思っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の声かけに気をつけてその方の出来る部分を認め、自立に向けた支援に努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活ぶりをご家族の方にも知らせ、ご本人とご家族の関係が途切れないように心がけております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に面会して頂けるように雰囲気作りに気を配っております。	家族の面会が一番楽しみな利用者が多く、大切な時間として継続してもらえる配慮をしている。フェイスシートの内容から昔話を話題にしたりすることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コミュニケーションがとれるように職員が間に入るなどして支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	該当なし 必要・要望があった場合はご本人・ご家族の相談に応じていきたいと思っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人本位のケアになるように努めております。	2名の利用者は思いを言えるが、他の利用者は言えなかったり、解らない様子なので表情や仕草からくみ取ったり、毎日の習慣から把握する事もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や生活環境を知り、今後の暮らしに反映していくように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々利用者の方に寄り添い、その方の変化に早く気付けるような支援に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人ひとりの利用者の方が安心・安全な生活を維持出来るように、介護計画を作成したいと考えております。	介護支援専門員が日々の支援にあたっていることで状況や様子が良く解っていることと、業務日誌からモニタリングや評価を行って計画書を作成している。デイサービス職員と共同での支援の為、会議時間がもてないが、特記事項などは話している。	利用者一人ひとりの支援方法や課題が異なる事により、職員会議を開催し、意見やアイデアを出し現状にあった計画書になるよう期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は業務日誌・支援経過に記録しております。 支援経過を見ながら介護計画の見直しに生かしたいと考えております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズは体調変化による通院介助が殆どであるが、その時に応じた対応をしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方々による大正琴の演奏や、施設周りの素晴らしい景色を見ながら散歩をしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的またはその時に応じた受診により、適切な医療を受けられるように支援しております。	協力医やかかりつけ医との連携で適切な医療を受けている。原則家族による同行受診であるが、やむを得ず職員による通院介助もある。家族とも連絡をとりあったり、緊急時対応も医師にお願いし、安心した生活ができている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の看護師と連携し、適切な処置が出来るように努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時のサマリーを共有しながら医療関係者と連携を取り、また3日に一度は病院を訪問し、利用者の方の不安がないように努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方については、入所時よりその都度何度もご家族の意向をお聞きし、主治医とご家族、職員がその意向を共有している。	入居時に「終末期のあり方」シートに希望を記入して提出してもらっており、医師も確認している。事業所としては看取りは出来ない方針を伝え、医師・家族と話し合いを持ちながら支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急搬送、ご家族への連絡、かかりつけ医への連絡等の手順を職員全体で日頃から把握し、対応出来るように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練をして職員の戸惑いがないようにしています。 また近隣住民の協力が得られるように、訓練に参加していただいております。	年2回の訓練を消防署にもお願いしながら行っている。地域の方の参加もあり災害時の協力依頼もしている。緊急対応マニュアルに添って対応出来るように職員は努力している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーの保護など職員全体で日々その大切さを認識して支援を行っております。	理念の考えでもある尊重を大事にし、入浴・排泄介助には気をつけている。利用者の中に他の利用者に暴言を吐くのでその対処について検討中である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定しやすいような雰囲気作り、言葉かけをしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの個性を尊重し、その日の気分や体調に合わせ、ゆとりを持った過ごし方が出来るように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人や職員による髭剃り、整髪その他、定期的に訪問理容室の利用をしており、又服装もその方らしい洋服が着れるように支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は楽しみの一つになっているので、メニューを話し合ったり、嗜好品を用いて食材にしたり、旬の食材を用いたりして、食事が楽しめる工夫をしております。	食材の購入から調理までを調理師が行っており、利用者の好みを聴いたり、行事食を取り入れている。食べやすい調理方法で「家庭で食べている献立や懐かしい料理」を工夫して提供している。皆の楽しい食事となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分の確保には十分気をつけ、個々の利用者の方の状態に合わせて支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の利用者の方に応じた口腔ケアを行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、自力でトイレへ行けない方も声かけによりトイレへ誘導し、介助にて排泄の自立を目指しております。この際プライバシーにも配慮して気をつけております。	自立にて排泄出来る利用者が1名いる。車椅子利用者でオムツをはずせるように、声かけや誘導にて訓練中である。夜間のみポータブルトイレを使用の利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い、便秘の方には医師の指示のもと、緩下剤を使用しております。食事にも食物繊維が含まれている食材を利用したり、水分補給にも気をつけております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日の入浴はご本人も疲れるので、およそ週3回ゆっくりと入浴出来るようにしております。しょうぶ湯やゆず湯も楽しんでいただいております。	週3回午前に入浴している。脱衣が嫌な利用者も入浴中からとてもいい笑顔になる。入浴の順番には特に注意を払い、気分良く入浴してもらっている。衣類の着がえや洗濯にも配慮し、支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に合わせて就寝していただいております。家庭で使用していた枕などを持ってきていただいた方もみえます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬事情報は個々のファイルに保管し、職員は常時確認出来るようになっております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	タオルたたみを手伝っていただいております。テレビのニュースを通じて自分の生活を振り返り、思い出を話し合ったりしております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	付近の散歩をし、春には花見に出かけております。	気候の良い時期には外気浴や近くを散歩している。少しずつ重度化が進み戸外に出る事は少なくなっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々によって使う頻度が異なる日常品の買い物は、職員が預かり金の中で買い物をしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望に応じて電話の取次ぎの支援をしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔の保持、空調機での室温管理、換気に配慮しております。 また周りの景色も良いので季節の移り変わりも感じてもらっております。	日中は1階に下りて、居間兼食堂でデイサービスの利用者と過ごしている。季節の飾り作品や塗り絵などが壁面に飾ってある。日差しの差し込む暖かく明るい空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中はリビングで過ごされていますが、体調の悪い時は静養室を利用されます。 時々御自分で好きな場所に行ってくつろいでいる方も見えます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビを観たい方は各自持参で、寝具も御自分の物を使いたい方は持ってきていただいております。	2階に居室があり、ドア前には花の絵と共に表札がある。どの部屋からも屋外の景色が見え、広く明るい居室である。野球ファンの利用者の部屋には大好きな選手ポスターが壁一面に貼ってある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活全般にわたり、御自分で出来ること、介助が必要なことを見極め、自立に向けた支援に努めております。		